

世界が進むチカラになる。



# 2024年度 決算ハイライト

2025年5月15日

三菱UFJフィナンシャル・グループ

# 2024年度決算の概要

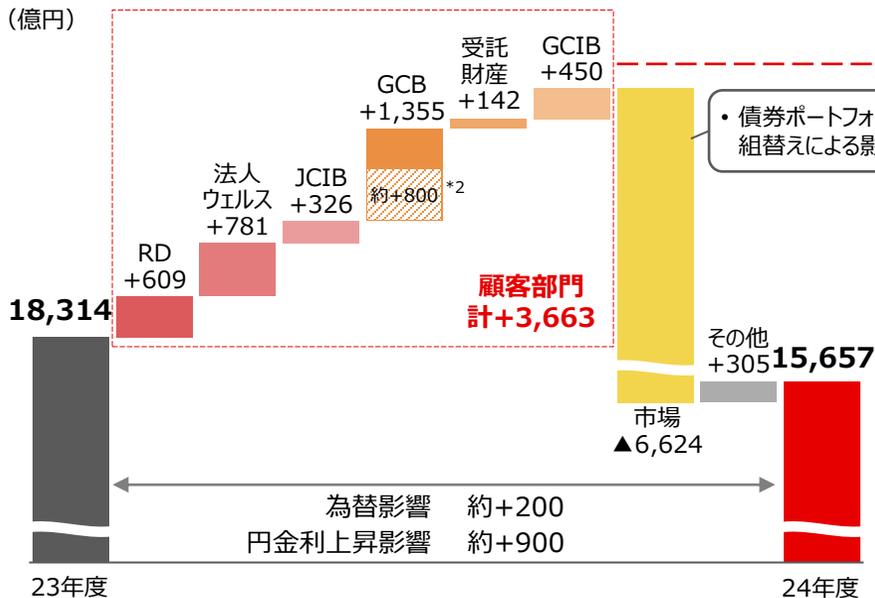
## ① 業務純益：15,911億円（前年比▲2,525億円）

顧客部門の営業純益\*1は前年比約+20%（前年比+3,663億円）と大きく伸長  
債券ポートフォリオの組替え等、将来の収益性向上に資する取り組みにより業務純益は減益

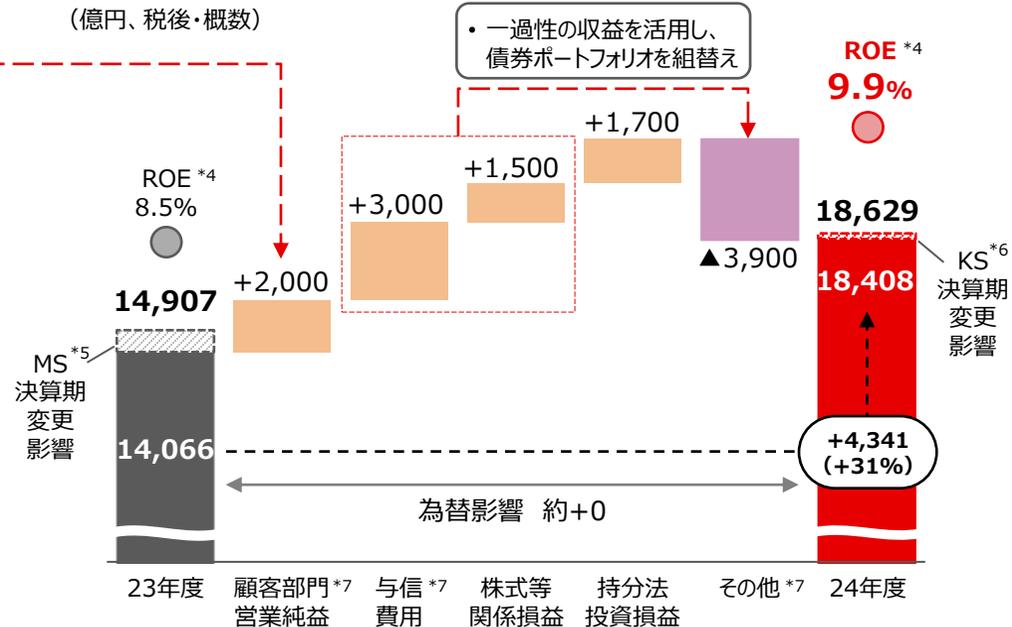
## ② 親会社株主純利益：18,629億円（前年比+3,721億円）

顧客部門の伸長に加え、持分法投資損益の増加等で、MUFG発足以来最高益を更新  
中計財務目標のROE9%程度を初年度で達成するとともに、中長期目標であるROE9～10%に到達

### 営業純益の増減



### 親会社株主純利益の増減内訳



本資料における「MS決算期変更影響」および「KS決算期変更影響」は、それぞれ以下の\*5、\*6を参照

\*1 社内管理上の連結業務純益 \*2 KS決算期変更に伴うGCB事業本部への影響 \*3 23年度：約▲2,000億円 | 24年度：約▲7,800億円 \*4 MUFG定義

\*5 23年度はMorgan Stanley（以降、MS）の持分法適用決算期の変更に伴う影響（「MS決算期変更影響」）841億円（2024年3月末の為替で換算した金額）

\*6 24年度より連結時に計上するKSの決算期間を従来の1-12月から4-3月へ変更。本変更に伴う影響（「KS決算期変更影響」）として、業務純益で795億円、親会社株主純利益（税後・持分比率勘案後）で220億円（KSの2024年1-3月期決算に基づく損益額を2025年3月末の為替で換算した金額） \*7 除くKS決算期変更影響

# 2025年度の業績目標／株主還元

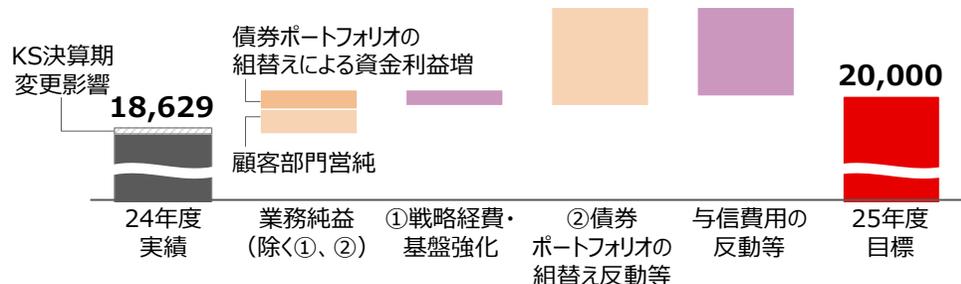
- 親会社株主純利益は、MUFG発足以来初の2.0兆円を目指し、ROE10%（東証定義）を視野に入れる経営環境見通しは不確実性が極めて高い状態にあるものの、今後、主要国の通商交渉がある程度進展し、グローバルサプライチェーンが大きく毀損しない前提の下、目標値を設定
- 株主還元として、1株当たりの年間配当額は70円（前年度比+6円）を予想加えて、上期において2,500億円を上限とする自己株式取得を決議\*1

## 25年度業績目標

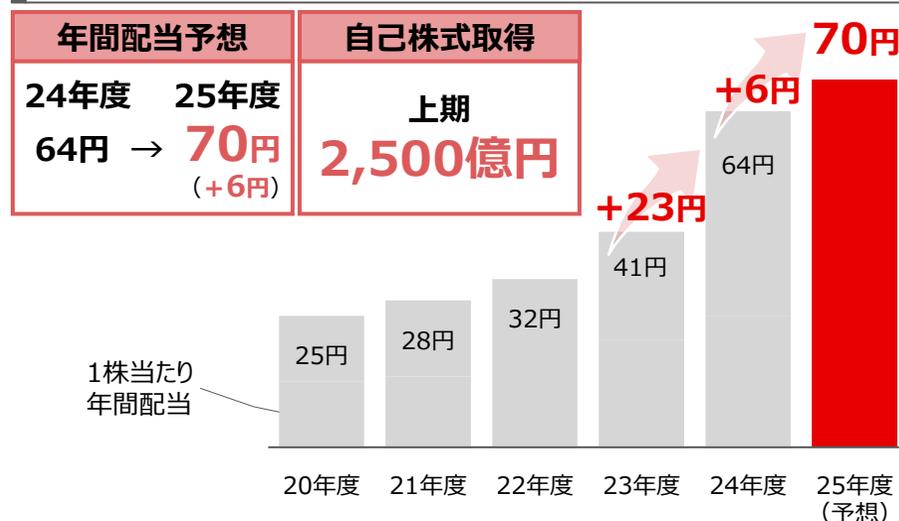
| MUFG連結（億円） | 24年度実績 | 25年度目標 | 増減     |
|------------|--------|--------|--------|
| 1 業務純益     | 15,911 | 22,000 | +6,089 |
| 2 与信関係費用総額 | ▲1,087 | ▲3,500 | ▲2,413 |
| 3 経常利益     | 26,694 | 28,500 | +1,806 |
| 4 親会社株主純利益 | 18,629 | 20,000 | +1,371 |

| 金融指標の前提 | 本邦政策金利 | FF金利  | 日経平均株価    | ドル円    |
|---------|--------|-------|-----------|--------|
|         | 0.5%程度 | 4%台前半 | 37,000円程度 | 140円程度 |

< 親会社株主純利益の増減要因（億円、税後） >



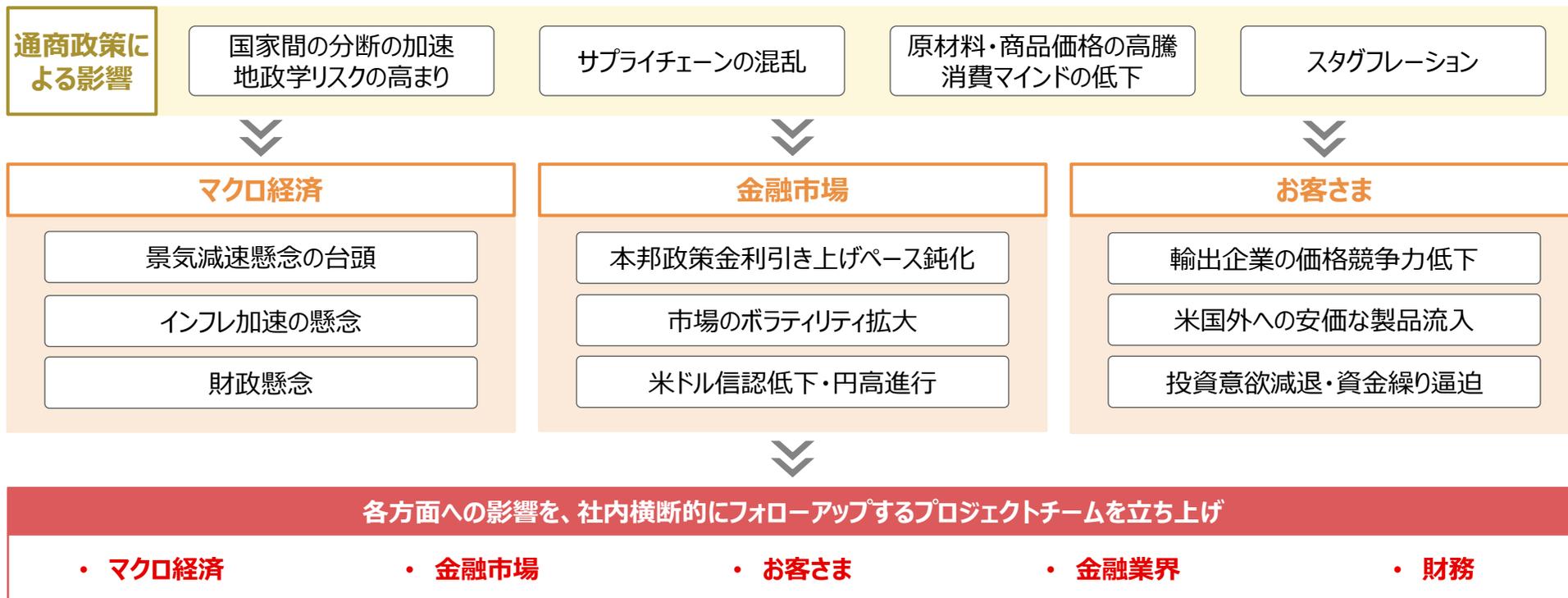
## 株主還元



|             |      |       |       |       |       |            |
|-------------|------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 配当性向 (%)    | 41.3 | 31.7  | 35.3  | 32.9  | 40.0  | 40.3       |
| 自己株式取得額（億円） | -    | 1,500 | 4,500 | 4,000 | 4,000 | 2,500 (上期) |
| 総還元性向 (%)   | 41.3 | 44.8  | 75.2  | 59.6  | 61.3  | -          |

# 主要国の通商政策による影響

- 足元の不確実性に鑑み、中計最終年度の財務目標は、環境を見極めた上で改めて検討・公表する

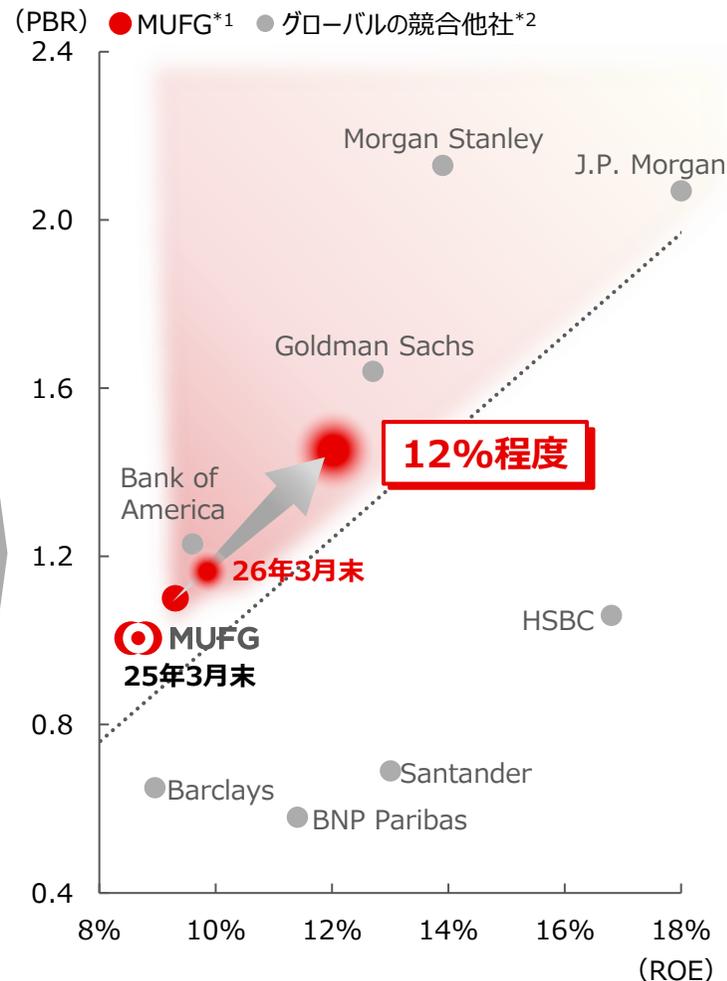
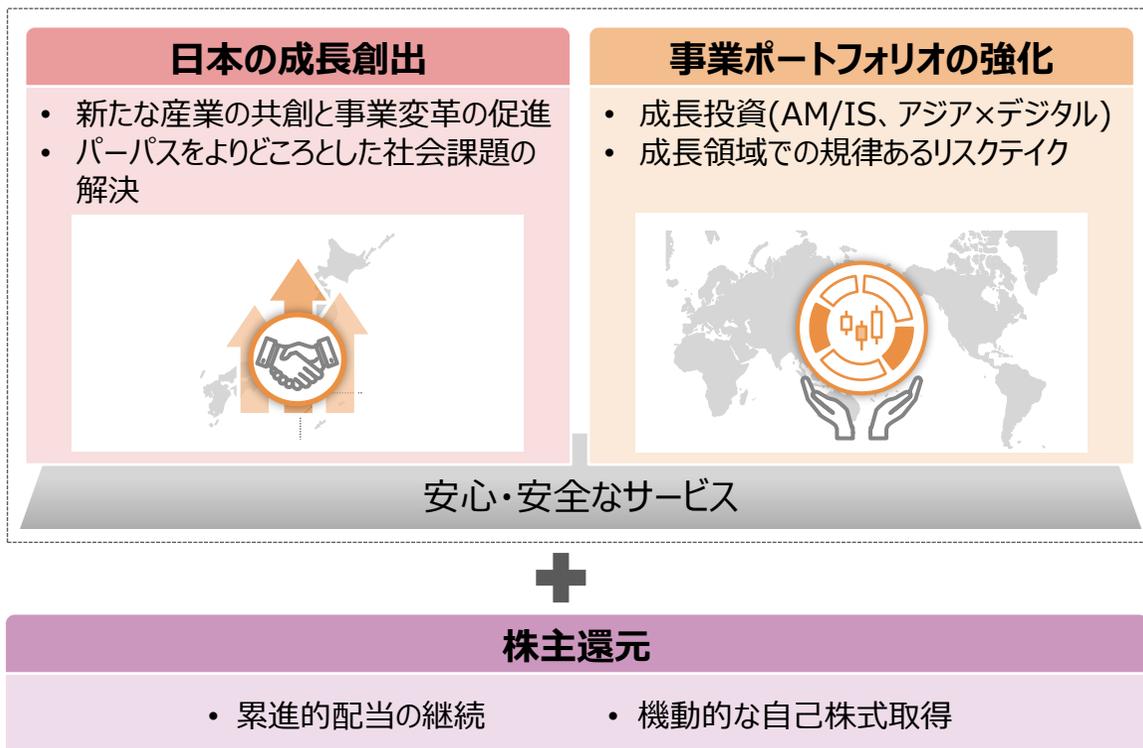
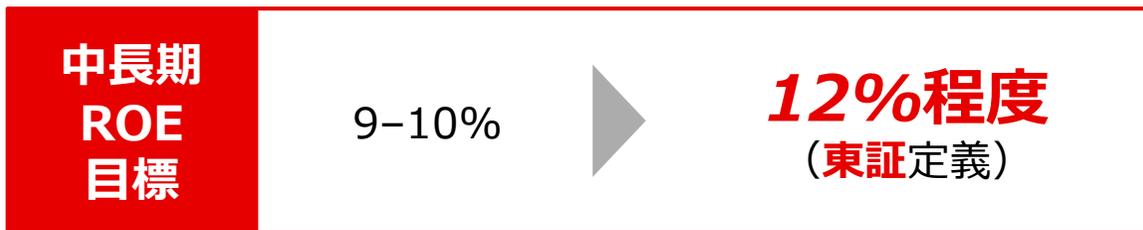


想定程度の環境であれば、  
26年度の親会社株主純利益は**2.0兆円以上**、ROEは**10%以上**（東証定義）と引続き成長を目指す

\*本邦政策金利0.75%程度、ドル円130円台半ば、日経平均株価40,000円程度

# 中長期ROE目標の見直し

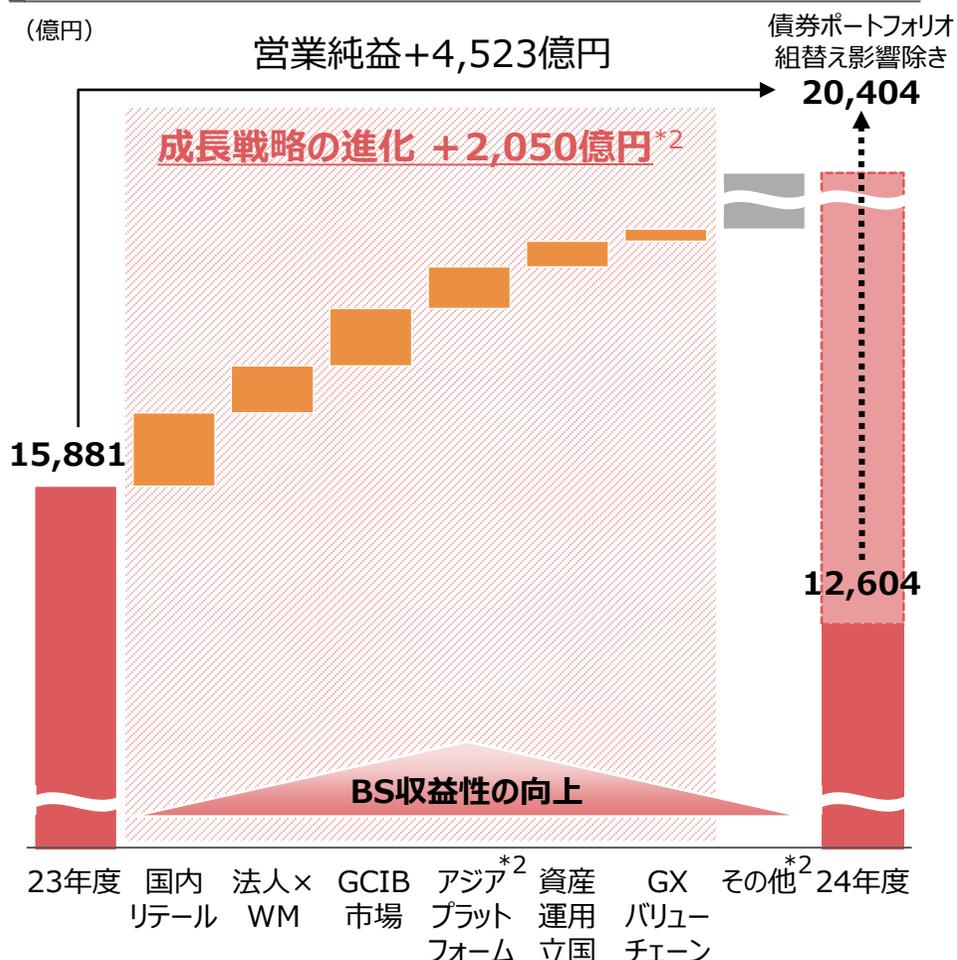
- 足元は不確実性のある環境ながらも、中長期的にROEを引き上げていく方針は不変



# 中計の3本柱の進捗状況：①成長戦略の進化

- 成長戦略の進捗により稼ぐ力は向上
- 24年度は総計+2,050億円と各領域において順調に推移

## 営業純益の状況\*1



## 成長戦略別トピックス

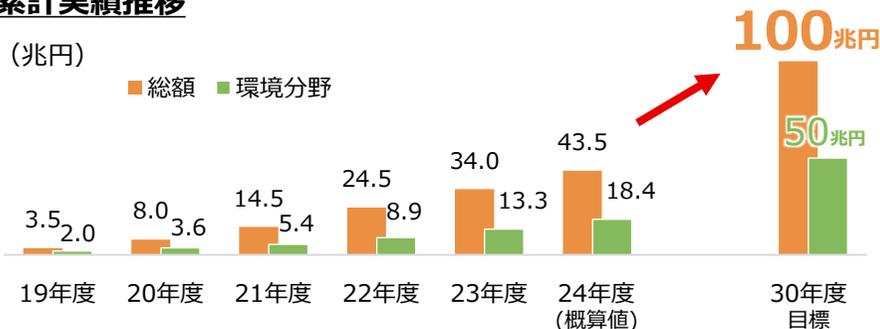
|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <b>国内リテール<br/>顧客基盤の強化</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>預金残高の増加やCF*3の拡大が増益に寄与</li> <li>カード新規申込/住宅ローン新規実行は拡大</li> </ul>                      |
| <b>法人×WMビジネス<br/>の強化</b>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門人材拡充等の社内体制強化</li> <li>顧客アプローチ拡大・案件捕捉力の向上</li> <li>事業承継関連融資や資産運用収益が伸長</li> </ul>   |
| <b>GCIB・市場一体<br/>ビジネスモデルの<br/>進化</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>PF*4やクロスセルが堅調推移</li> <li>プライマリー・セカンダリー間の連携も進展</li> </ul>                            |
| <b>アジア<br/>プラットフォームの<br/>強靱化</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>為替・決済を中心にクロスセルが堅調推移</li> <li>デジタルペイメント事業者2社への出資完了</li> </ul>                        |
| <b>資産運用立国<br/>実現への貢献</b>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>AM/ISの中計KPIを引き上げ</li> <li>クレジット/オルタナ領域の施策が進展</li> <li>本邦初となる未上場株式投信の受託開始</li> </ul> |
| <b>GX起点での<br/>バリューチェーン支援</b>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外でバリューチェーン構築の支援を実施</li> <li>プロジェクト共創件数の24年度実績は34件</li> </ul>                      |
| <b>新たな事業ポート<br/>への挑戦</b>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>電力市場参入、LayerX社・エフアンドエム社との協働など、複数の新規事業を立ち上げ</li> </ul>                               |

# 中計の3本柱の進捗状況：②社会課題の解決・③企業変革の加速

- 社会課題の解決に向けた道筋とMUFGの取り組みがもたらすインパクトを可視化
- AIディバイドの時代を見据え、業務効率化のみならず能力拡張のツールとして取り組みを推進

## サステナブルファイナンスの進捗

### 累計実績推移



## 社会課題の解決に向けた各種レポート（4月）

**未来につなぐ**  
MUFGの社会課題解決

- MUFGの社会課題の解決に焦点を当てた初めてのレポート
- 社員起点、課題起点での取り組み事例やアウトプットKPI、インパクト指標などを掲載
- 一部のインパクト指標は定量的目標値を設定

**Climate Report 2025**

- 移行計画の「実効性」をコンセプトに内容をアップデート
- 主要戦略に沿った具体的な取り組み実績や、新たな課題への対応も開示

## AIネイティブな組織への変革に向けた取り組み

- 60の高度なユースケース推進、AI活用促進に向け全社運動を開始

**社員の働き方改革** ・ Copilot活用拡大、内部業務支援

**データドリブン営業** ・ 提案活動の生産性・品質向上

**事業モデルの変革** ・ AIIエージェント等、最新技術の導入

MUFG全社  
AI浸透運動  
Hello AI  
@MUFG

現時点での期待業務量削減時間 **約3百万時間**\*1

## AI・データ利活用やデータ基盤・リソースの状況

- 利活用の推進と並行して、データ基盤の強化・リソース増強を加速

### データ基盤の強化

(24年度)

データ量 **1.1PB**\*2

23年度対比 **約2倍**

### データに基づく行動の習慣化

(24年度)

AIモデル\*3  
案件実装数 **24件**

BI\*4  
利用者 **25千人超**

23年度対比 **3倍**

銀行拠点  
RM利用率 **約90%**

本領域への投資・経費\*5 **約80億円(24年度) → 600億円(今中計累計計画)**

AI専門人材(銀行) **約100人(23年度) → 330人超(今中計計画)**

\*1 今中計期間中の年間業務量削減時間(見直し効果含む)の試算値 \*2 ペタバイト、1PB=1,024TB \*3 機械学習(Machine Learning)を中心としたAIモデル・処理群  
\*4 Business intelligence: 様々なデータを分析・見える化し、経営や業務に役立てる手法  
\*5 基盤強化枠を中心とした投資・経費計画の試算値を含む(基盤システムのベース経費・償却費等を除く)

# 銀証連携に関する業務改善命令・貸金庫窃取事案の対応状況

- 再発防止に向けた改善対応策や内部監査等は計画通りに進捗  
手続き・ルール的高度化や研修・モニタリングを通じた定着度の向上を図る

## 銀証連携に関する業務改善命令

改善対応策<sup>\*1</sup>は完了、内部監査にて実効性も検証済み

- ① 具体的事例に基づく、ルール・手続の見直し・徹底
- ② より実践に則した研修の強化
- ③ 業績評価見直し及びグループ総合採算目線の目的の再徹底
- ④ 営業部署・リスク管理部署によるモニタリング態勢の強化
- ⑤ 経営管理態勢の強化
- ⑥ 持株会社としての改善対応策

### 今後の対応

- 今後も実践に則した研修を継続、法令の正しい理解と浸透を図る
- 現場の声やモニタリングで検知した内容を、研修や注意喚起に反映

**MUFGの総合力を活かしたお客さま本位の営業活動を実現**

**継続的に実施** 役職員に対する実践に則した研修・理解度確認

現場の声、相談事項を反映

モニタリング、検知結果を反映

社内相談窓口による  
迅速かつ実践的なサポート

モニタリング、  
検知・指導の継続

## 貸金庫からのお客さま資産窃取事案

再発防止策<sup>\*2</sup>の実施状況

- ① 貸金庫に関する手続き・ルールの見直し、管理強化
- ② 拠点内での牽制・モニタリングの強化
- ③ 本部等による牽制・モニタリング強化
- ④ 人事運営の見直し
- ⑤ 法令等遵守意識の再徹底

### 今後の対応

金融庁監督指針等を踏まえた手続き・ルールの見直し、管理強化

- 貸金庫室内への防犯カメラの追加設置
- 防犯カメラ映像の分析等におけるデジタル技術活用の検討

### 持続的な業務改善への取り組み

- 本事案のリスク分析・所在を踏まえ、他のお客さま資産等に関連する業務プロセスの不正リスク低減策に着手
- 不正防止策の強化に向けた業務プロセスの改善について、グループ一体で取り組みを継続

# 損益の概要

【連結】

## 連結P/L

| (億円) |                  | 23年度     | 24年度   | 増減      |
|------|------------------|----------|--------|---------|
| 1    | 業務粗利益（信託勘定償却前）   | ① 47,325 | 48,193 | +867    |
| 2    | 資金利益             | 24,578   | 28,765 | +4,186  |
| 3    | 信託報酬+役員取引等利益     | 18,206   | 20,902 | +2,695  |
| 4    | 特定取引利益+その他業務利益   | 4,539    | ▲1,474 | ▲6,014  |
| 5    | うち国債等債券関係損益      | ▲4,507   | ▲9,914 | ▲5,407  |
| 6    | 営業費（▲）           | ② 28,887 | 32,281 | +3,393  |
| 7    | （経費率）            | 61.0%    | 66.9%  | +5.9ppt |
| 8    | 業務純益             | 18,437   | 15,911 | ▲2,525  |
| 9    | 債券ポートフォリオ組替え影響除き | 20,437   | 23,711 | +3,274  |
| 10   | 与信関係費用総額         | ③ ▲4,979 | ▲1,087 | +3,891  |
| 11   | 株式等関係損益          | ④ 3,712  | 5,925  | +2,212  |
| 12   | 株式等売却損益          | 3,814    | 6,435  | +2,620  |
| 13   | 持分法による投資損益       | 5,318    | 5,969  | +651    |
| 14   | その他の臨時損益         | ▲1,209   | ▲24    | +1,184  |
| 15   | 経常利益             | 21,279   | 26,694 | +5,415  |
| 16   | 特別損益             | ▲778     | ▲1,188 | ▲409    |
| 17   | 親会社株主純利益         | ⑤ 14,907 | 18,629 | +3,721  |
| 18   | 決算期変更影響除き*1      | 14,066   | 18,408 | +4,341  |
|      | (ご参考)            |          |        |         |
| 19   | ROE（MUFG定義）*2    | 8.5%     | 9.9%   | +1.3ppt |
| 20   | ROE（東証定義）*2      | 8.1%     | 9.3%   | +1.2ppt |

### ① 業務粗利益（為替影響：約+700億円）

- KS決算期変更影響約+1,650億円、海外における買収影響、円金利上昇影響の取り込みや利ざや改善による資金収益増加、資産運用・受託財産・ソリューション等の国内外の手数料収入の増加で増益
- 一過性の収益（政策保有株式売却益・貸倒引当金戻入）を活用し、債券ポートフォリオ組替えに伴う売却損（国債等債券関係損益）を計上

### ② 営業費（為替影響：約+500億円）

- KS決算期変更影響約+855億円や、海外における買収影響に加えて、成長に向けた資源投入やインフレ影響等で増加
- 経費率は、債券ポートフォリオ組替えによる売却損の影響により上昇も、当該影響除きでは改善\*3

### ③ 与信関係費用総額

- 海外で大口の貸倒引当金戻入を計上し、大幅に減少
- 主要国の通商政策による将来の信用リスク増大懸念を勘案し、現状の見積額を追加引当として計上済み

### ④ 株式等関係損益

- 政策保有株式の売却が進展し、大口の売却益計上に伴い大幅増加

### ⑤ 親会社株主純利益

- MUFG発足以来、過去最高益を更新

\*1 MS決算期変更影響841億円およびKS決算期変更影響220億円を調整

\*2 MS決算期変更影響額除きでは、MUFG定義：8.1%、東証定義：7.6%（いずれも23年度の数値）

\*3 23年度：58.5% | 24年度：57.6%（前年比▲0.9ppt）

## (参考) 事業本部別業績 (1/4)

【連結】

### リテール・デジタル事業本部\*1

- 円金利上昇を捉えた資金収益増やCF\*2領域の増収が、基盤強化費用等の経費増を打ち返し営業純益は増益
- 当期純利益はCF\*2領域における一過性費用等の計上に伴い減益

| (億円)               | 23年度  | 24年度  | 増減      |
|--------------------|-------|-------|---------|
| <b>粗利益</b>         | 8,332 | 9,329 | +998    |
| 預貸金収益              | 1,784 | 2,459 | +675    |
| 内為・外為              | 416   | 452   | +36     |
| 資産運用               | 469   | 415   | ▲54     |
| カード決済              | 2,194 | 2,310 | +115    |
| コンシューマーファイナンス (CF) | 2,966 | 3,142 | +176    |
| <b>経費 (▲)</b>      | 6,266 | 6,642 | +376    |
| 経費率                | 75%   | 71%   | ▲4ppt   |
| <b>営業純益</b>        | 2,065 | 2,687 | +621    |
| <b>当期純利益</b>       | 672   | 442   | ▲230    |
| <b>RWA*3 (兆円)</b>  | 9.1   | 9.2   | +0.1    |
| <b>ROE</b>         | 6.5%  | 4.0%  | ▲2.5ppt |

### 法人・ウェルスマネジメント事業本部\*1

- 円金利上昇を捉えた資金収益増に加えて、相場変動を捉えたデリバティブ収益や、好調な株式市況を背景とした資産運用等、各領域で収益を積み上げ増益

| (億円)              | 23年度  | 24年度  | 増減      |
|-------------------|-------|-------|---------|
| <b>粗利益</b>        | 6,153 | 7,161 | +1,009  |
| 預貸金収益             | 1,815 | 2,597 | +782    |
| 内為・外為             | 967   | 990   | +22     |
| デリバティブ・ソリューション    | 768   | 849   | +81     |
| 不動産・証券代行・相続       | 568   | 642   | +74     |
| 資産運用              | 1,847 | 1,920 | +73     |
| <b>経費 (▲)</b>     | 4,080 | 4,297 | +217    |
| 経費率               | 66%   | 60%   | ▲6ppt   |
| <b>営業純益</b>       | 2,073 | 2,864 | +791    |
| <b>当期純利益</b>      | 1,426 | 2,163 | +737    |
| <b>RWA*3 (兆円)</b> | 16.7  | 16.7  | ▲0.0    |
| <b>ROE</b>        | 8.5%  | 13.0% | +4.5ppt |

## (参考) 事業本部別業績 (2/4)

【連結】

### コーポレートバンキング事業本部\*1

- 円金利上昇や採算改善の取り組みによる資金収益増、ソリューション・M&Aでの大口案件獲得により増益

| (億円)              | 23年度  | 24年度  | 増減      |
|-------------------|-------|-------|---------|
| <b>粗利益</b>        | 8,663 | 9,224 | +561    |
| 預貸金収益             | 4,686 | 4,983 | +297    |
| 内為・外為*2           | 873   | 878   | +5      |
| デリバティブ・ソリューション*2  | 709   | 819   | +110    |
| 不動産・証券代行          | 666   | 732   | +65     |
| M&A・DCM・ECM*3     | 533   | 650   | +116    |
| 海外非金利収益           | 973   | 977   | +3      |
| <b>経費 (▲)</b>     | 3,488 | 3,627 | +139    |
| 経費率               | 40%   | 39%   | ▲1ppt   |
| <b>営業純益</b>       | 5,175 | 5,597 | +422    |
| <b>当期純利益</b>      | 4,133 | 4,833 | +699    |
| <b>RWA*4 (兆円)</b> | 31.9  | 30.5  | ▲1.4    |
| <b>ROE</b>        | 12.0% | 14.5% | +2.5ppt |

### グローバルコマーシャルバンキング事業本部\*1,5

- KS：与信費用増加も、手数料収益増に加えて、決算期変更影響や買収影響もあり増益
- BDI：貸出増に伴う金利収益増加や手数料収益伸長で営業純益増益も、与信費用増で当期純利益は減益

| (億円)              | 23年度  | 24年度  | 増減      |
|-------------------|-------|-------|---------|
| <b>粗利益</b>        | 5,892 | 7,821 | +1,929  |
| KS*6              | 4,442 | 6,145 | +1,702  |
| BDI               | 1,474 | 1,531 | +57     |
| <b>経費 (▲)</b>     | 3,302 | 4,309 | +1,007  |
| (経費率)             | 56%   | 55%   | ▲1ppt   |
| KS*6              | 2,116 | 2,970 | +855    |
| (経費率)             | 48%   | 48%   | +1ppt   |
| BDI               | 806   | 856   | +49     |
| (経費率)             | 55%   | 56%   | +1ppt   |
| <b>営業純益</b>       | 2,589 | 3,512 | +922    |
| KS*6              | 2,327 | 3,174 | +847    |
| BDI               | 668   | 675   | +7      |
| <b>当期純利益</b>      | 937   | 663   | ▲273    |
| KS*6              | 862   | 1,003 | +140    |
| BDI               | 267   | 242   | ▲25     |
| <b>RWA*4 (兆円)</b> | 7.2   | 7.1   | ▲0.2    |
| <b>ROE</b>        | 9.0%  | 6.5%  | ▲2.5ppt |

\*1 社内管理上の計数。現地通貨ベース \*2 国内分のみ \*3 不動産証券化等を含む \*4 社内管理上の計数。バーゼルⅢ規制最終化（完全実施）により2029年3月末に適用される規制に基づく試算値。その他有価証券評価差額金を含む

\*5 KSの計数にはGCB帰属分のみを含み、その他の事業本部帰属分を除く。BDIはエンティティベース \*6 会計基準差異調整後。市場帰属分を除く

## (参考) 事業本部別業績 (3/4)

【連結】

### 受託財産事業本部\*1

- 堅調な市況に加えて、国内投信への資金純流入や、IS領域におけるバンドルサービス進展により営業純益は増益
- 当期純利益は、海外子会社に関する減損損失計上等の影響により減益

| (億円)             | 23年度  | 24年度  | 増減      |
|------------------|-------|-------|---------|
| <b>粗利益</b>       | 3,928 | 4,695 | +767    |
| AM               | 1,621 | 1,564 | ▲57     |
| IS               | 1,606 | 2,366 | +760    |
| 年金               | 701   | 765   | +64     |
| <b>経費 (▲)</b>    | 2,802 | 3,452 | +650    |
| 経費率              | 71%   | 74%   | +2ppt   |
| <b>営業純益</b>      | 1,126 | 1,243 | +117    |
| <b>当期純利益</b>     | 787   | 672   | ▲115    |
| <b>経済資本 (兆円)</b> | 0.4   | 0.5   | +0.1    |
| <b>ROE</b>       | 13.5% | 9.5%  | ▲4.0ppt |

### グローバルCIB事業本部\*1

- 欧米での利ざや改善・アジアでの預金積み上げによる資金収益増に加え、全地域で手数料収益が伸長し増益
- 当期純利益は、営業純益の増加に加えて、不良債権の売却等による大口の貸倒引当金戻入もあり、大幅増益

| (億円)               | 23年度  | 24年度  | 増減       |
|--------------------|-------|-------|----------|
| <b>粗利益</b>         | 6,527 | 7,181 | +655     |
| 預貸金収益              | 3,412 | 3,685 | +274     |
| 手数料                | 2,754 | 3,044 | +290     |
| 外為・デリバティブ          | 294   | 299   | +5       |
| DCM・ECM            | 240   | 288   | +48      |
| <b>経費 (▲)</b>      | 3,642 | 3,722 | +80      |
| 経費率                | 56%   | 52%   | ▲4ppt    |
| <b>営業純益</b>        | 2,885 | 3,459 | +574     |
| <b>当期純利益</b>       | 408   | 3,402 | +2,994   |
| <b>RWA*2 (兆円)</b>  | 24.1  | 23.9  | ▲0.2     |
| <b>ROE</b>         | 1.5%  | 13.5% | +12.0ppt |
| <b>ROE (調整後)*3</b> | 6.5%  | 7.5%  | +1.0ppt  |

\*1 社内管理上の計数。現地通貨ベース

\*2 社内管理上の計数。バーゼルⅢ規制最終化（完全実施）により2029年3月末に適用される規制に基づく試算値。その他有価証券評価差額金を含む

\*3 23年度・24年度における大口の与信費用・資金収益・RWAについて個別調整をした試算値

## (参考) 事業本部別業績 (4/4)

【連結】

### 市場事業本部\*1

- セールス&トレーディングは、相場変動を捉えて、外国為替業務やフィクストインカム業務等で着実にフロー取引を獲得
- トレジャーリーは、将来の収益力向上を図る債券ポートフォリオ組替えに伴い売却損を計上したため、減益

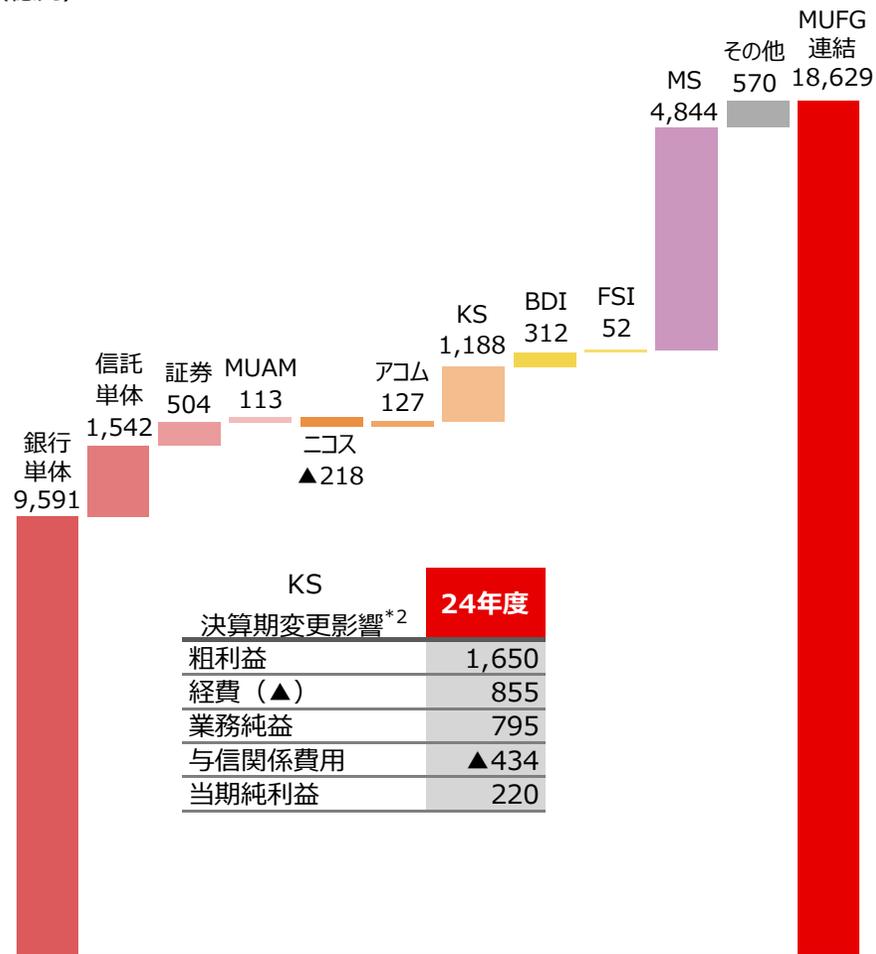
| (億円)             | 23年度   | 24年度   | 増減     |
|------------------|--------|--------|--------|
| <b>粗利益</b>       | 2,963  | ▲3,602 | ▲6,564 |
| セールス&トレーディング     | 3,499  | 3,406  | ▲93    |
| トレジャーリー          | ▲583   | ▲7,077 | ▲6,495 |
| <b>経費 (▲)</b>    | 2,711  | 2,815  | +104   |
| 経費率              | 92%    | N/A    | N/A    |
| <b>営業純益</b>      | 251    | ▲6,417 | ▲6,669 |
| セールス&トレーディング     | 1,426  | 1,215  | ▲211   |
| トレジャーリー          | ▲1,201 | ▲7,682 | ▲6,481 |
| <b>当期純利益</b>     | 102    | ▲4,570 | ▲4,673 |
| <b>経済資本 (兆円)</b> | 4.4    | 4.4    | ▲0.1   |
| <b>ROE</b>       | 0.5%   | N/A    | N/A    |

# (参考) 主要業態別業績

【連結】

## 親会社株主純利益の主要業態別内訳\*1

(億円)



## 主要業態別の業績概要\*3

| (億円)  | 銀行単体   |        | 信託単体  |       | 証券    |      |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|------|
|       | 24年度   | 前年比*4  | 24年度  | 前年比*5 | 24年度  | 前年比  |
| 業務粗利益 | 18,768 | ▲4,067 | 2,759 | ▲63   | 3,704 | +188 |
| 業務純益  | 5,217  | ▲4,528 | 700   | ▲4    | 744   | +7   |
| 当期純利益 | 9,591  | +1,549 | 1,542 | +964  | 504   | +17  |

| (億円)  | MUAM |     | ニコス   |       | アコム   |       |
|-------|------|-----|-------|-------|-------|-------|
|       | 24年度 | 前年比 | 24年度  | 前年比*6 | 24年度  | 前年比*7 |
| 業務粗利益 | 459  | +58 | 2,353 | +178  | 2,802 | +212  |
| 業務純益  | 181  | +18 | 374   | +118  | 1,784 | +192  |
| 当期純利益 | 113  | +8  | ▲218  | ▲246  | 321   | ▲209  |

| (億円)  | KS    |        | BDI   |      | FSI   |      |
|-------|-------|--------|-------|------|-------|------|
|       | 24年度  | 前年比*8  | 24年度  | 前年比  | 24年度  | 前年比  |
| 業務粗利益 | 8,049 | +2,606 | 1,971 | +179 | 1,096 | ▲106 |
| 業務純益  | 3,804 | +1,179 | 799   | +45  | 242   | ▲67  |
| 当期純利益 | 1,545 | +292   | 338   | +33  | 52    | ▲196 |

\*1 持分比率勘案後の実績

\*2 KSの2024年1-3月期決算に基づく損益額を2025年3月末の為替で換算した金額。当期純利益は税後・持分比率勘案後。

\*3 連結調整前概算値。当期純利益は持分比率勘案前（持分比率は、アコム：約39.6%、KS：約76.9%、BDI：約92.5%）

\*4 前年に計上した国内子会社からの特別配当の剥落税前約▲800億円を含む \*5 MUAM連結除外に伴う配当税前約400億円を含む

\*6 減損損失として税前約▲300億円を含む \*7 利息返還損失引当金繰入として税前▲400億円を含む \*8 KS決算期変更影響を含む

# B/Sの概要

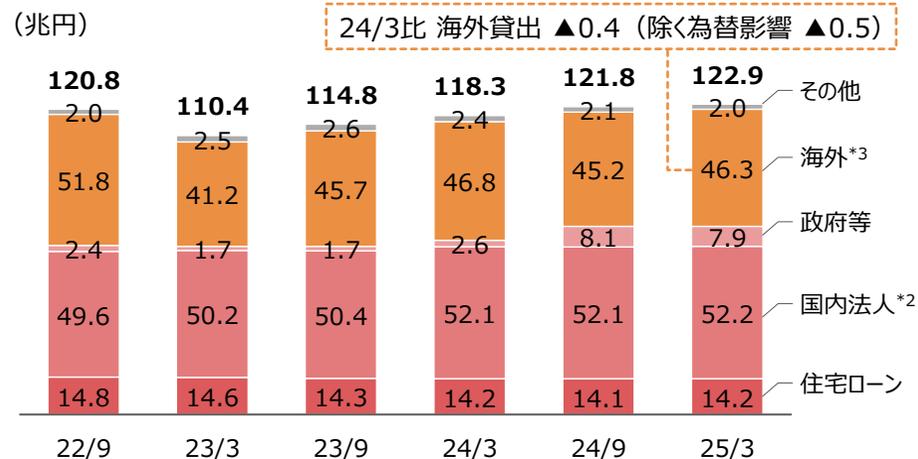
【連結】

## B/Sサマリー

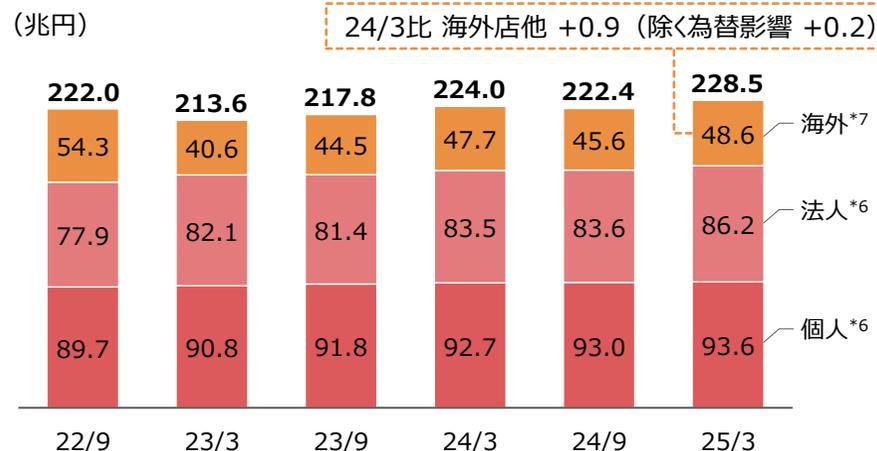
( ) 内は前年度末比



## 貸出金推移 (末残) <sup>\*1</sup>



## 預金推移 (末残)



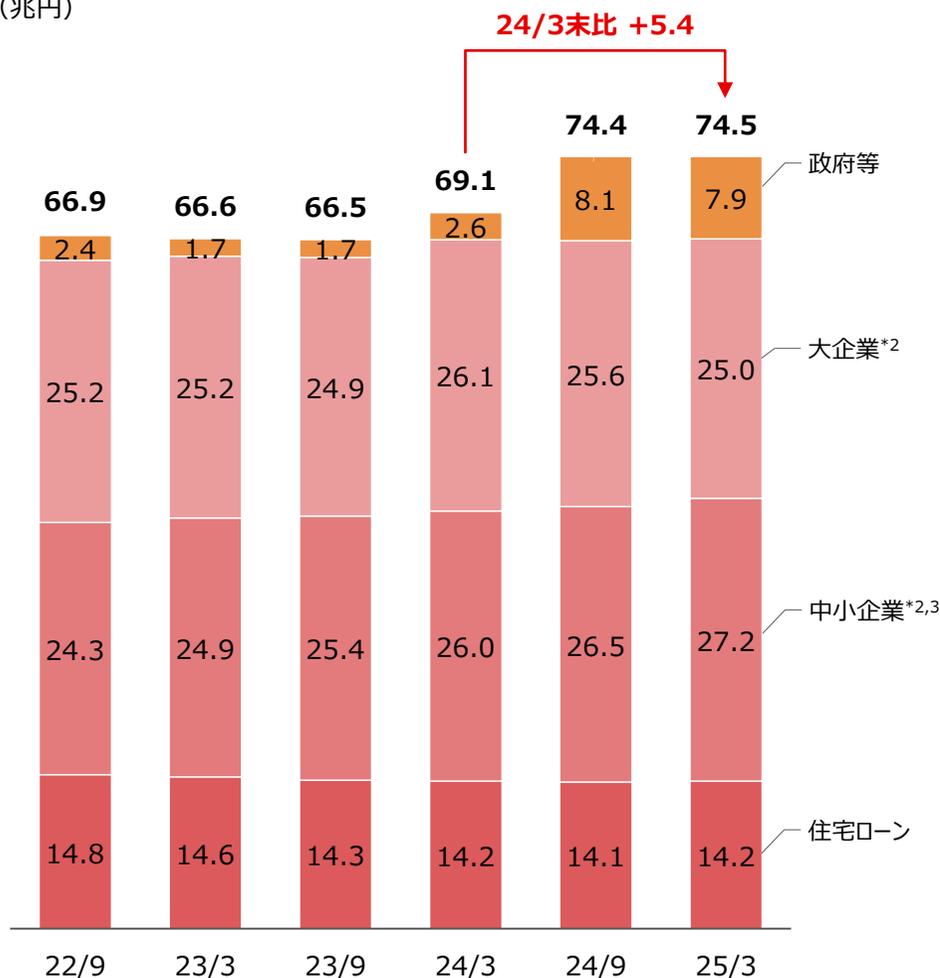
\*1 銀行勘定+信託勘定 \*2 政府等向け貸出除く、外貨建貸出を含む  
 \*3 海外支店+MUAH+KS+BDI+MUFGバンク(中国)+MUFGバンク(マレーシア)+MUFGバンク(ヨーロッパ) \*4 銀行勘定  
 \*5 日本銀行当座預金(2行合算+日本マスタートラスト信託銀行) \*6 2行合算 \*7 海外店その他子会社等預金

# 国内貸出金

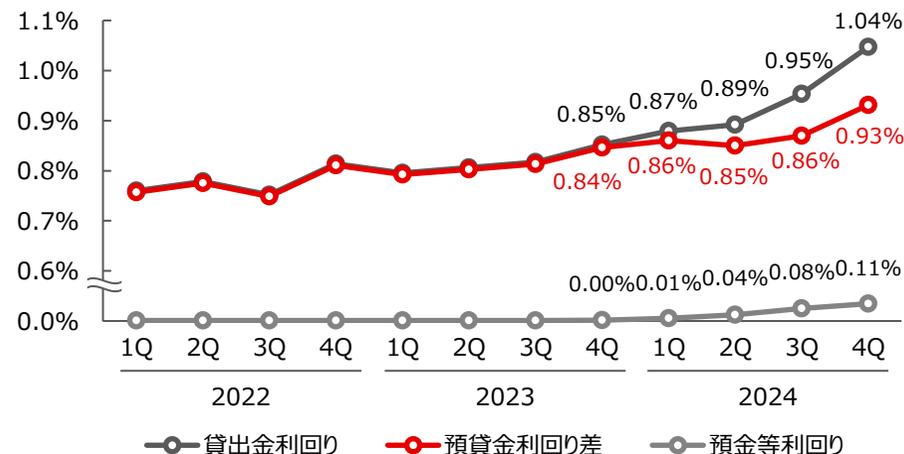
【連結・2行合算】

## 貸出金（未残）\*1

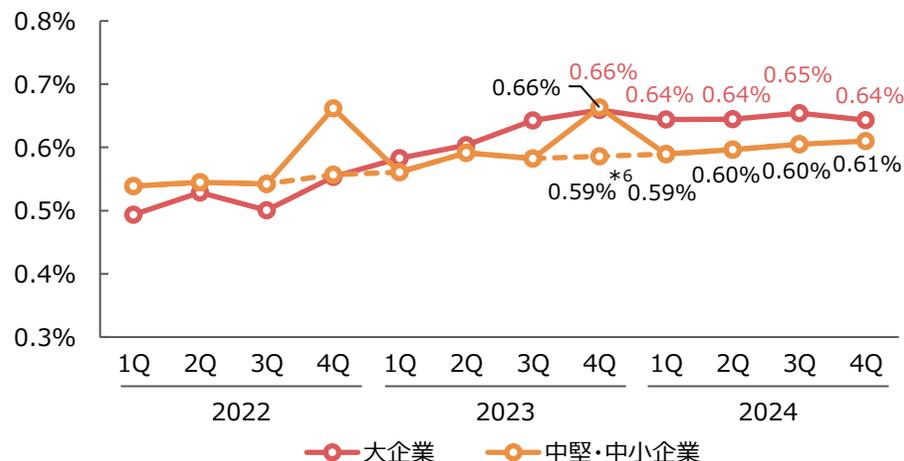
(兆円)



## 国内預貸金利回りの推移\*4,5



## 国内法人貸出利ざや\*2,4,5

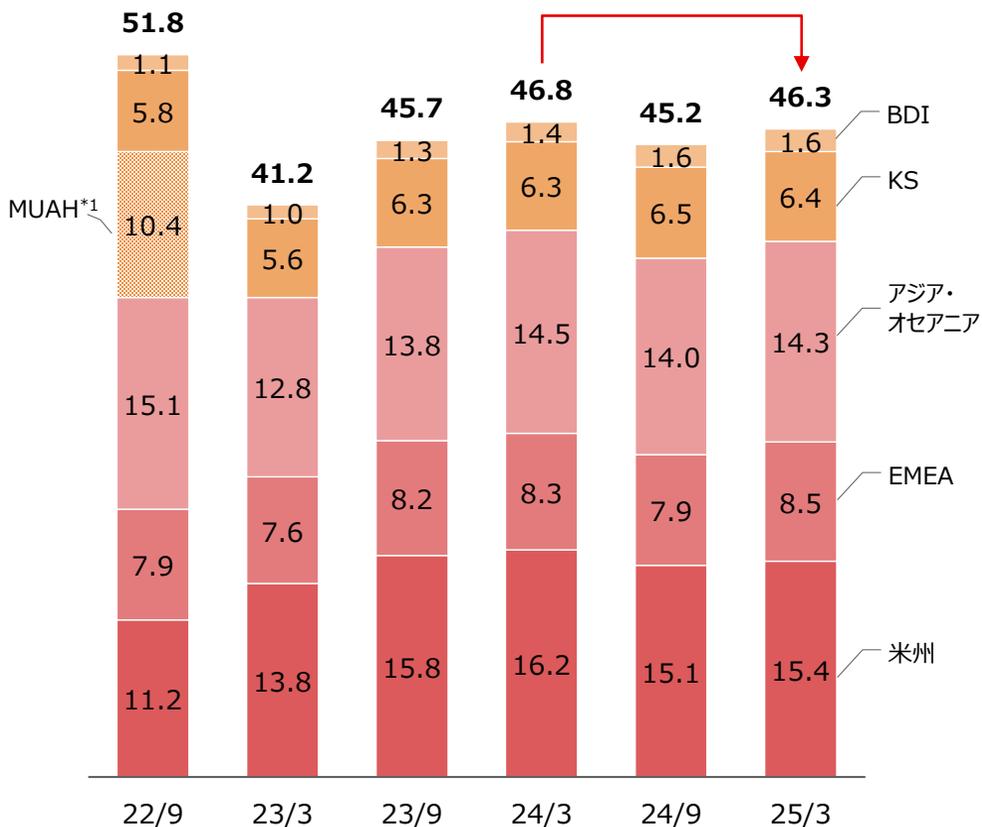


# 海外貸出金

## 貸出金（未残）

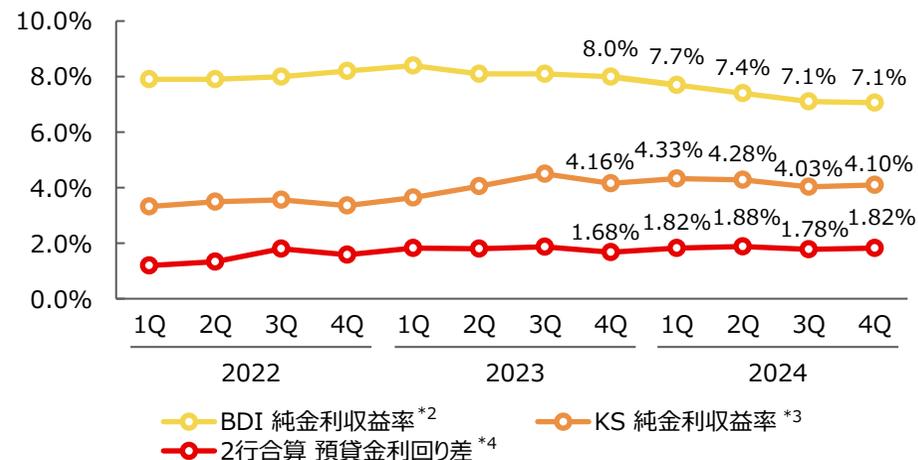
(兆円)

24/3末比 ▲0.4  
(除く為替影響 ▲0.5)

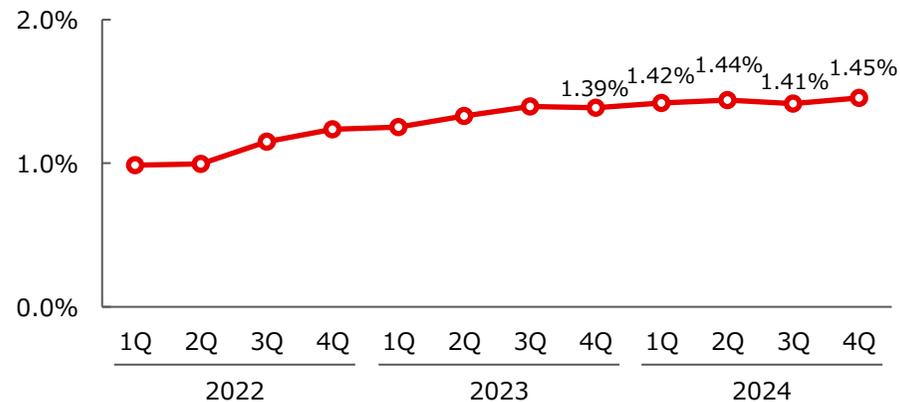


# 【連結・2行合算】

## 海外利回り等の推移



## 海外貸出利ざや\*4

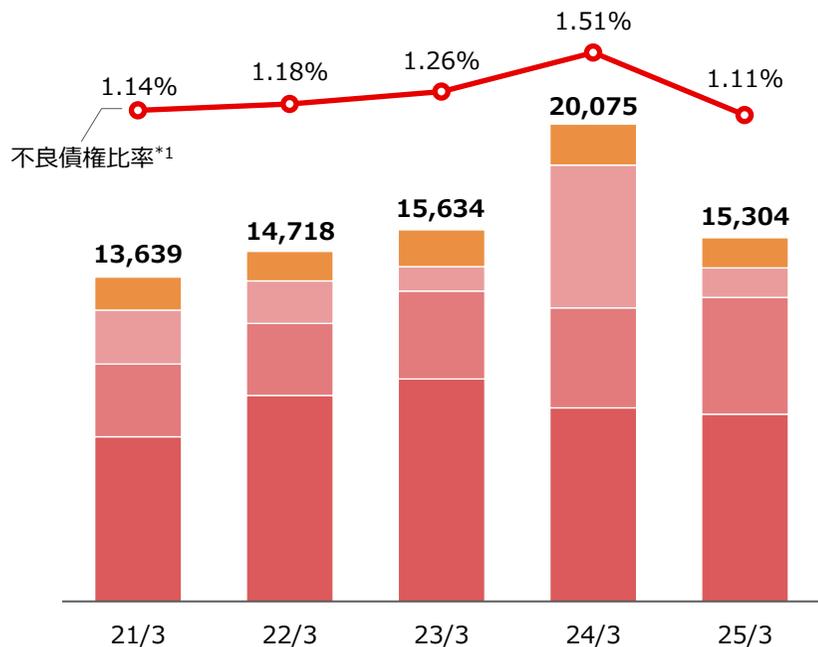


# アセットクオリティ

【連結】

## 銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）

(億円)

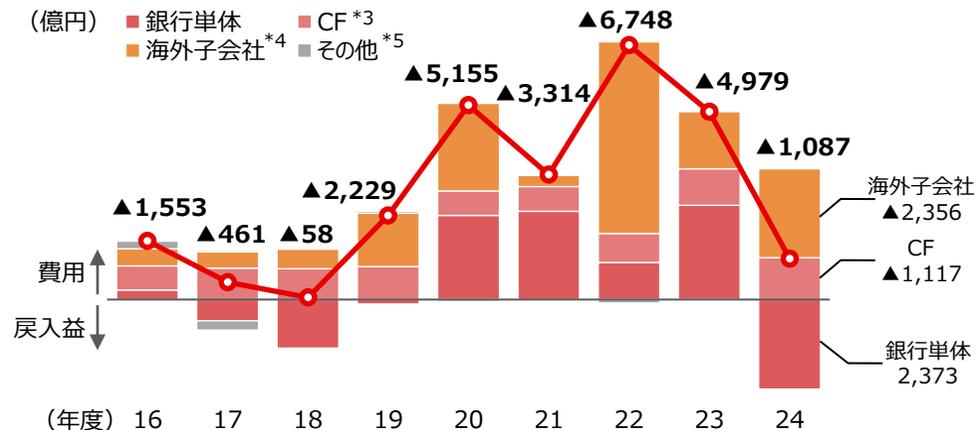


内訳\*2

|      | 21/3  | 22/3  | 23/3  | 24/3  | 25/3  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| EMEA | 1,387 | 1,240 | 1,552 | 1,715 | 1,278 |
| 米州   | 2,267 | 1,781 | 1,021 | 6,015 | 1,240 |
| アジア  | 3,058 | 3,029 | 3,702 | 4,207 | 4,918 |
| 国内   | 6,925 | 8,666 | 9,358 | 8,137 | 7,867 |

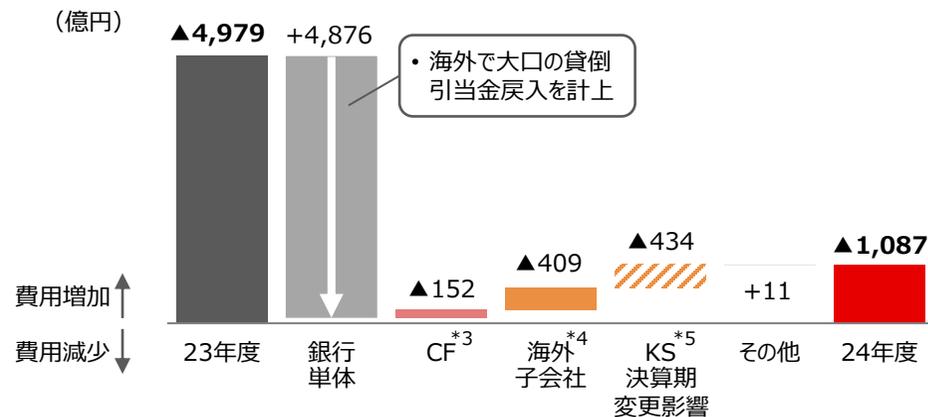
## 与信関係費用総額の推移

(億円)



## 与信関係費用総額の増減

(億円)



# 保有有価証券の状況（1/2）

【連結・2行合算】

## 有価証券（時価あり）の内訳

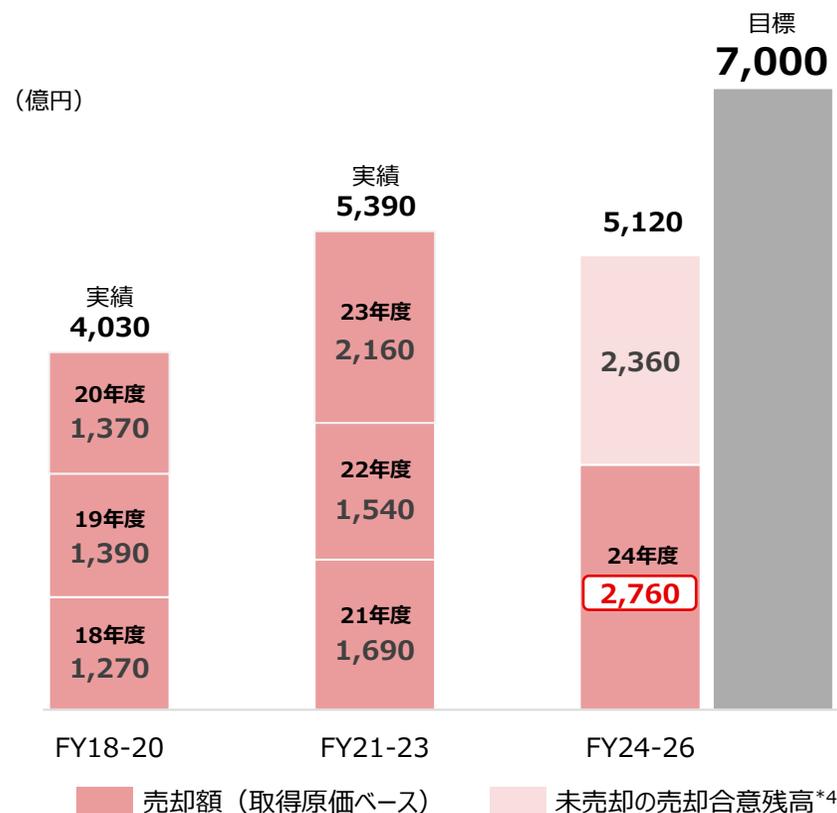
| (兆円)      | 残高     |         | 評価損益   |                     |
|-----------|--------|---------|--------|---------------------|
|           | 25年3月末 | 24年3月末比 | 25年3月末 | 24年3月末比             |
| 1 満期保有目的  | 23.27  | ▲1.57   | -      | -                   |
| 2 その他有価証券 | 61.32  | ▲0.41   | 2.20   | ▲0.52               |
| 3 国内株式    | 3.54   | ▲1.56   | 2.45   | ▲1.30               |
| 4 国内債券    | 23.12  | ▲1.95   | ▲0.24  | ▲0.11               |
| 5 うち国債    | 21.18  | ▲0.18   | ▲0.15  | ▲0.08               |
| 6 その他     | 34.65  | +3.09   | ▲0.00  | +0.89               |
| 7 うち外国株式  | 0.66   | ▲0.04   | 0.03   | +0.02               |
| 8 うち外国債券  | 24.18  | +3.19   | ▲0.11  | +0.88 <sup>*1</sup> |
| 9 その他     | 9.81   | ▲0.04   | 0.07   | ▲0.00               |

## その他有価証券評価損益の推移



## 政策保有株式の削減<sup>\*3</sup>

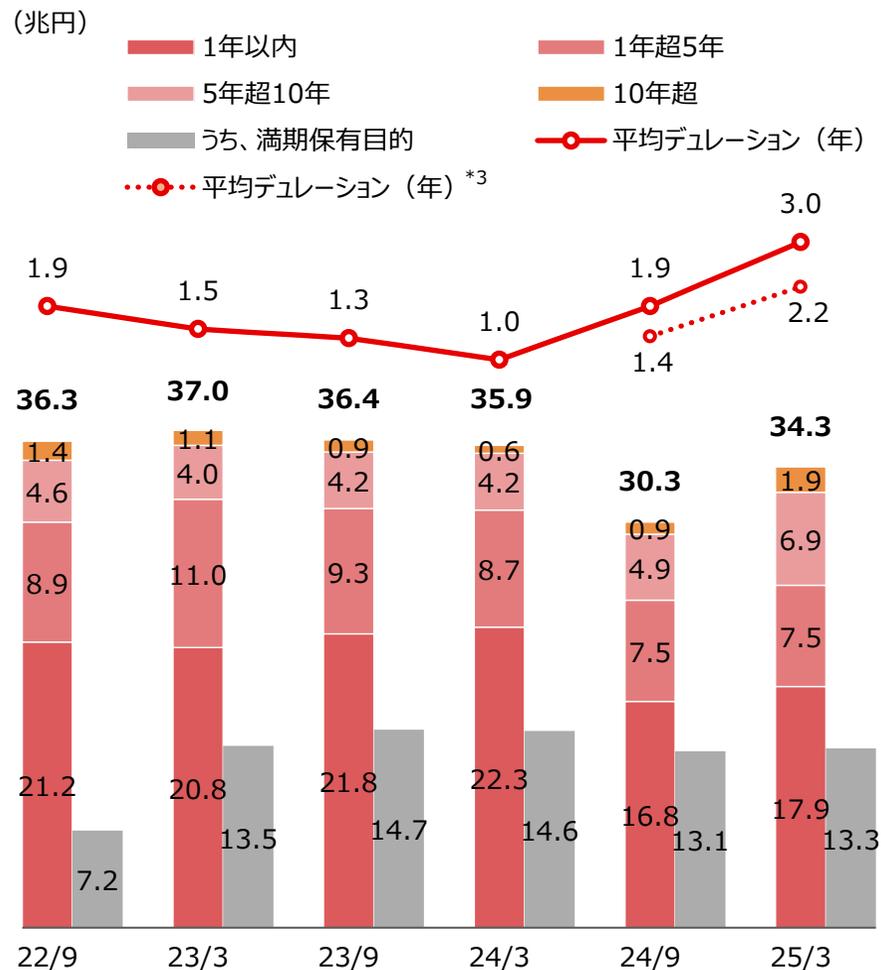
- 25年3月末時点の売却実績は2,760億円
- 今中計期間中の売却合意残高を含めて、5,120億円まで積上げ



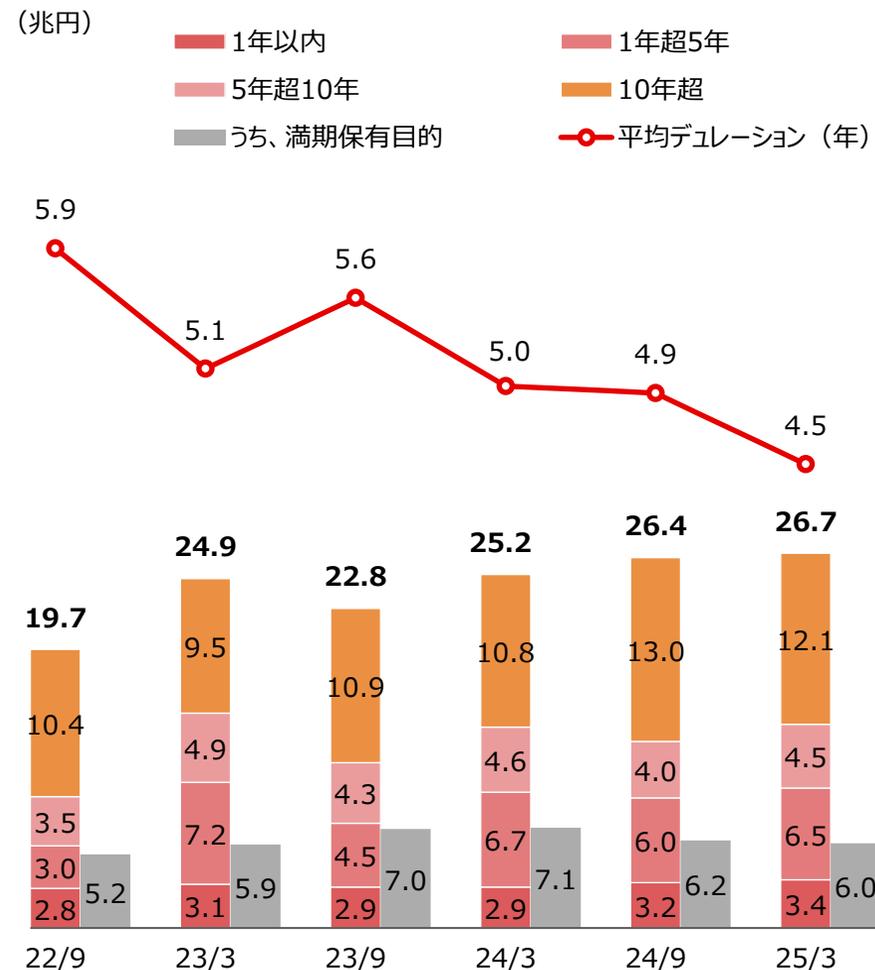
# 保有有価証券の状況 (2/2)

【2行合算】

## 国債残高\*1・デュレーション\*2



## 外国債券残高\*1・デュレーション\*2



# 自己資本の状況

【連結】

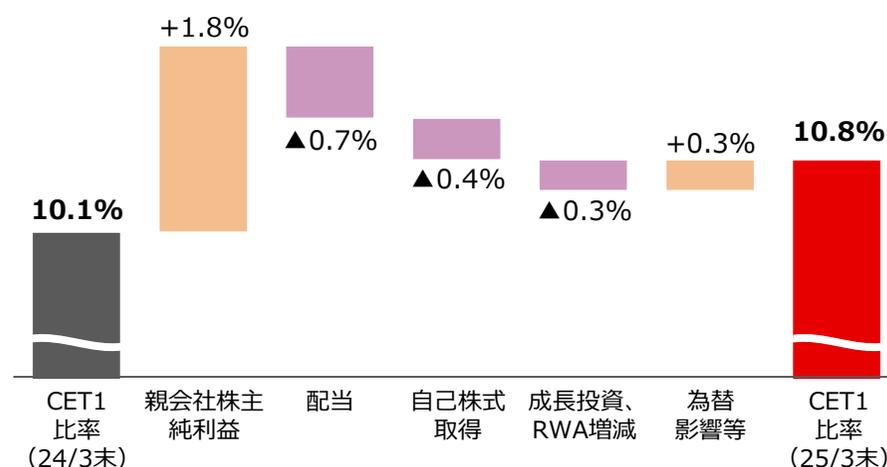
## 資本・リスクアセットの額

| (億円)                       | 24年<br>3月末 | 25年<br>3月末 | 24年<br>3月末比 |
|----------------------------|------------|------------|-------------|
| 1 普通株式等Tier1資本<br>(CET1)   | 150,413    | 151,692    | +1,279      |
| 2 その他Tier1資本               | 24,384     | 26,356     | +1,971      |
| 3 Tier1資本                  | 174,797    | 178,048    | +3,251      |
| 4 Tier2資本                  | 23,381     | 23,401     | +20         |
| 5 総自己資本<br>(Tier1+Tier2)   | 198,178    | 201,450    | +3,272      |
| 6 リスクアセット                  | 1,111,601  | 1,069,304  | ▲42,296     |
| 7 信用リスク                    | 995,056    | 946,902    | ▲48,153     |
| 8 マーケットリスク                 | 25,131     | 25,438     | +307        |
| 9 オペレーショナルリスク              | 91,413     | 96,963     | +5,549      |
| 10 フロア調整                   | -          | -          | -           |
| 11 総エクスポージャー <sup>*1</sup> | 3,364,256  | 3,360,335  | ▲3,921      |

## 規制資本比率

|                                  |                            | 24年<br>3月末 | 25年<br>3月末 | 24年<br>3月末比 |
|----------------------------------|----------------------------|------------|------------|-------------|
| 1                                | 含み益込み                      | 13.53%     | 14.18%     | +0.65%      |
| 2                                | 含み益除き <sup>*2</sup>        | 10.1%      | 10.8%      | +0.7%       |
| <b>中期経営計画 ターゲットレンジ 9.5-10.5%</b> |                            |            |            |             |
| 3                                | レバレッジ比率                    | 5.19%      | 5.29%      | +0.10%      |
| 4                                | 外部TLAC<br>比率               |            |            |             |
|                                  | リスクアセットベース                 | 25.06%     | 24.64%     | ▲0.41%      |
| 5                                | 総エクスポージャーベース <sup>*1</sup> | 9.65%      | 9.16%      | ▲0.49%      |

## 資本配賦実績 - 含み益除き<sup>\*2</sup>

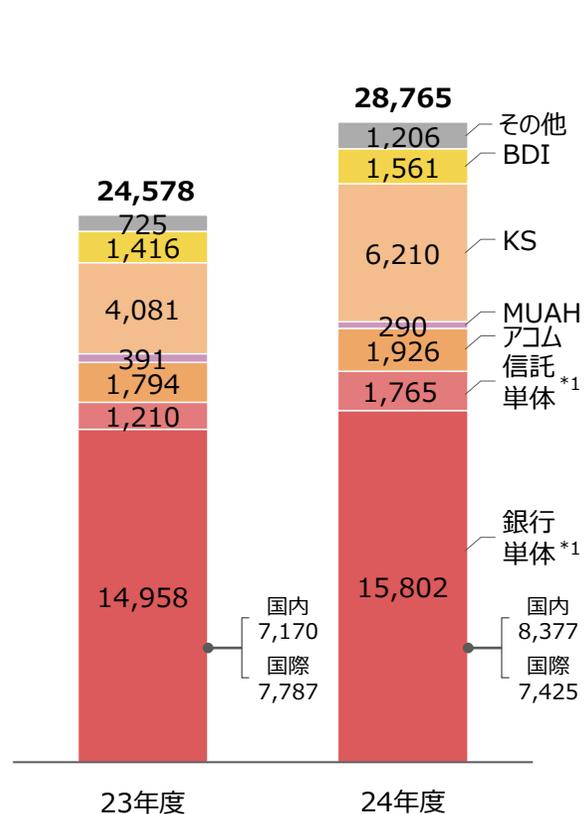


# (参考) 業務粗利益の内訳

【連結】

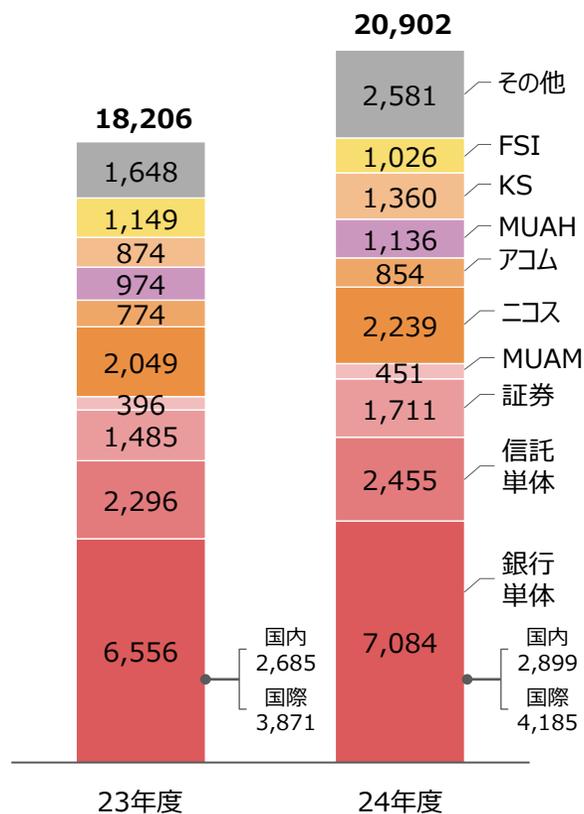
## 資金利益

(億円)



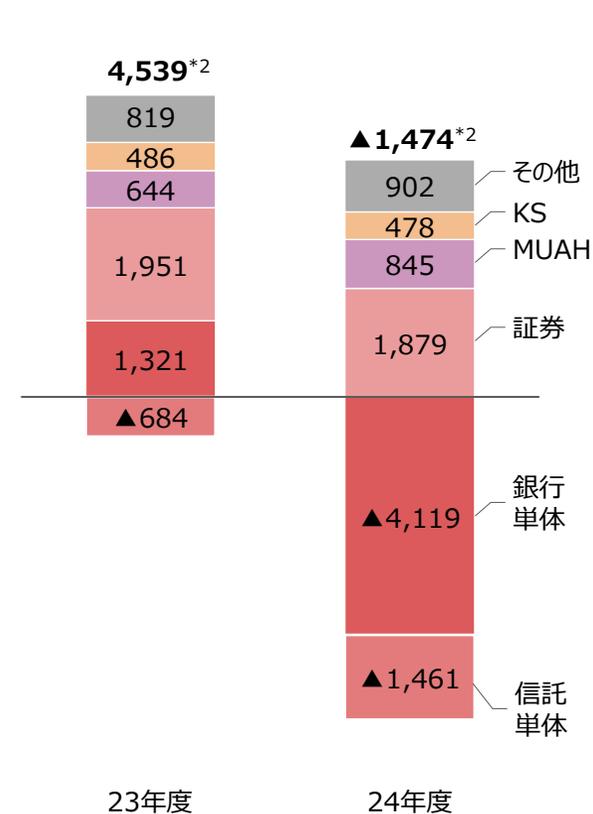
## 信託報酬+役務取引等利益

(億円)



## 特定取引利益+その他業務利益

(億円)



\*1 投信解約損益（2行合算）として以下を含む。

23年度：銀行単体 167億円、信託単体 820億円 | 24年度：銀行単体 527億円、信託単体 362億円

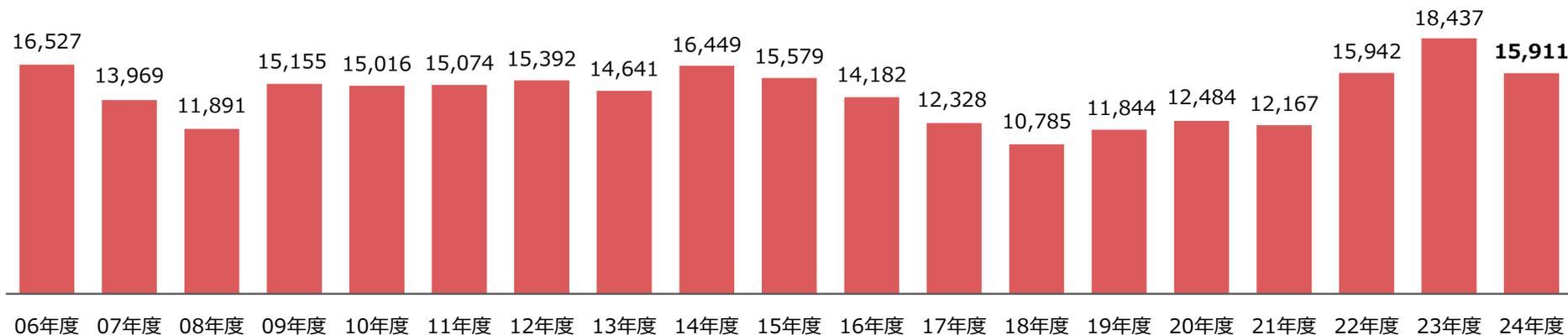
\*2 国債等債券関係損益として以下を含む。23年度：▲4,507億円 | 24年度：▲9,914億円

# (参考) MUFG発足以降の業績の推移

【連結】

## 業務純益

(億円)



## 親会社株主純利益

(億円)



# ディスクレマー

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。

## 本資料における計数・表記の定義

- 業務粗利益： 信託勘定償却前連結業務粗利益
- 業務純益： 連結業務純益（一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前）
- 親会社株主純利益： 親会社株主に帰属する純利益
- ROE（MUFG定義）：
$$\frac{\text{親会社株主純利益}}{\{ (\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定}) \} \div 2}$$
- 与信関係費用総額： 与信関係費用（信託勘定）＋一般貸倒引当金繰入額＋与信関係費用（臨時損益）＋貸倒引当金戻入益＋偶発損失引当金戻入益（与信関連）＋償却債権取立益
- 連結：三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
- 2行合算：三菱UFJ銀行単体と三菱UFJ信託銀行単体の単純合算
- RD：リテール・デジタル事業本部
- 法人ウェルス：法人・ウェルスマネジメント事業本部
- JCIB：コーポレートバンキング事業本部
- GCB：グローバルコマーシャルバンキング事業本部
- 受財：受託財産事業本部
- GCIB：グローバルCIB事業本部
- 市場：市場事業本部
- 銀行：三菱UFJ銀行
- 信託：三菱UFJ信託銀行
- 証券：三菱UFJ証券ホールディングス
- MUMSS：三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- MUAM：三菱UFJアセットマネジメント
- MUAH：米州MUFGホールディングス
- ニコス：三菱UFJニコス
- KS：クルンシィ（アユタヤ銀行）
- BDI：ダナモン銀行
- FSI：First Sentier Investors
- MS：Morgan Stanley